

人形作家 秋山信子 | 心やすらぐ人形を

文部科学省選定 第2回文化庁優秀映画賞 2001年教育映像祭優秀作品賞 日本映画ペンクラブ賞第2位 2001年キネマ旬報文化映画ベスト・テン第3位 優秀映画観賞会推薦

人形作家・秋山信子（あきやまのぶこ）。その人形は、沖縄八重山の風俗や芸能をはじめ各地の祭礼行事を題材にして、情緒豊かに表現する独自の様式を持っている。映画は、秋山信子の人形制作のわざを記録するとともに、豊かな人柄と作品の世界を紹介する。

■協力

東京国立近代美術館工芸館 吉徳これくしょん 松下美術苑真々庵 ポーラ美術振興財団 河内長野市 日野地区獅子舞保存会 山田弘子 山崎美千子 三蔵 徹（与那国民俗芸能伝承保存会会長）

祖納元健司 与那嶺令子（歌と三線） 小峰シゲ子 崎原弘子 玉城好子 大城初子（踊り） 池間 苗（与那国民俗資料館館長） 伊盛ハルノ 具志堅学子 古見房子（民芸品製作） 与那国町伝統織物協同組合

大阪リーガロイヤルホテル（桐壺創作人形教室の皆さん）

友中香代子 衛藤多鶴子 小西明子 小沢佐代子 能島美栄子



1928年（昭和3年）、大阪天王寺に生まれた秋山信子、1996年（平成8年）、重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された。秋山の人形は、愛らしさの中に内面的な深さと芯の強さを感じさせる。沖縄八重山の風俗や芸能をはじめ、各地の祭礼行事を題材にして、情緒豊かな独自の様式を持っている。

映画は、地元・大阪の河内長野市に伝わる獅子舞をテーマとした新作『豊穰（ほうじょう）』の制作工程を中心に展開され、その制作工程を記録するとともに、師の堀柳女（ほりりゅうじょ）、大林蘇乃（おおばやしその）との出会いや秋山の人形制作にかける情熱、自然の風物や人との出会いによって、心に感じられる深い思いなど、人間的な魅力も伝える。

2001
作品ナンバー 0602

記録
フィルム
カラー／38分

- 企画
（財）ポーラ伝統文化振興財団
- 監修
白石和己（三重県立美術館館長）

スタッフ

- 製作
村山正実
山本孝行
- 脚本・監督
村山正実
- 演出助手
井上 実
- 撮影
西山東男
- 撮影助手
今野聖輝
新藤多門
木村裕義
木村光男
- 照明
本橋俊男
- 録音
荒井富保
- 効果音
岡瀬晶彦
- タイトル
菁映社
- 編集
吉田栄子
- ネガ編集
加納宗子
- 題字
羽生紫蘭
- 選曲
山崎 宏
- 現像
IMAGICA
- 語り
中西妙子